

第5回内部管理業務分科会 議事要旨

1 開催日時 平成20年9月11日(木) 14:05 ~ 17:18

2 場所 永田町合同庁舎第3共用会議室

3 出席者

[委員会] 吉野主査、野原副主査、大山専門委員、小尾専門委員、松尾専門委員

[事務局] 佐久間事務局長、関参事官 他

(議題)

- 株式会社セブン-イレブン・ジャパン及び株式会社セブン&アイHLDGS. からのヒアリング
-

◎吉野主査から、委員による率直かつ自由な意見交換を確保するため、会議は非公開とし、後日、議事要旨を公開する旨の発言があり、各委員から了承を得た。

◎株式会社セブン-イレブン・ジャパン及び株式会社セブン&アイHLDGS. からのヒアリング

○株式会社セブン-イレブン・ジャパンにおける旅費関係業務及び株式会社セブン&アイHLDGS. (以下「セブン」) における給与関係業務について、質疑及び意見交換を行った。その主な内容は以下のとおり。

- ・ グループ各社に共通システムの導入を行った際、一番壁となったのは何か。グループ内のすべての会社の言い分を聞いていたら効率化にはならないので、何かを基本にして統一していったというイメージを持っているがどうか。今後導入する方へのアドバイスがあればお願いしたい。
- (セブン) 各社の歴史を認め、各社の言い分を聞くことが重要。また、ルーティンワークではなく、年末調整などのイベント的な業務を皆で一緒に行うことから始めることも一つの方法。
- ・ 全体像を最初に作って実行させたのではなく、実際にいろいろやり取りをしながら形を作っていたと理解。
- (セブン) 事務系業務の統合は強力なリーダーシップがないと難しいが、各省においても、最終的に強力なリーダーシップが発揮され、それを実際に実行す

る人がいれば実現できるのではないか。また、実際に現場を分かっている人が決定を下せるよう、権限を下ろしてもらうことも重要。

- ここで言うリーダーシップとは、手本を作って下に実行させるということではなく、本気で実行するということをリーダーが明言することと理解。

以上